R　　授業プランシート　（　教科　　社会科　　）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　月　　　　　日　（　　　　）　　　　３　年　　　　　組

単元名　　第６章第３節　日中戦争と総戦力に向かう国民生活（　　４/４　）

４　日中戦争と総力戦に向かう国民生活（教科書ｐ238・２３９）　 　　　　授業者：

|  |
| --- |
| １　本時のねらい |
| 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まったことを理解させ、長期化する戦時下の国民生活の変化について着目し、平和な生活を築くことの大切さに気付くことができる。 | （評価場面方法）【思考・判断・表現】戦争を進めるために、政府が国民に対して行った政策を読み取り、大正期の政治や生活との違いに着目し、資料を活用しながら考察し適切に表現している。 |
| ２　めあて、まとめ、振り返り |  |
| （まとめ）日中戦争の中で、国の予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制も始まるなど戦争優先の政策が進められていった。 | （めあて）日本は戦争を進めるために、　　　　　　　　どのような政策を行ったのだろうか。ｓ正対 |
| 【単元を貫く問い】なぜ、世界や日本では、ファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのだろうか。**《振り返り》**　世界や日本でファシズムや軍国主義の風潮が強まっていったのは、（　　　　　　　　　　　　　）が関係すると考える。なぜなら、（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）だから。＊例文は変えてもよい。（必ず自分の考えに根拠を入れること） |
| ３　本時の展開 |  |
| 導入　　　①　「国際連盟脱退の新聞記事」（前時の復習）「日中戦争の広がり」（地図を確認）・（蒋介石・毛沢東）の写真などから日中戦争の広がりを確認する。②「世界恐慌」「近代における軍事費の変化」厳しい状況を確認、戦争を行うには物資が必要。→めあてを引き出す。《めあて》日本は戦争を進めるために、どのような政策を行ったのだろうか？展開　（１）戦争に向かう政府の政策を出しあう。（１９３８年：国家総動員法・政党の解散「大政翼賛会」に　　　　　　合流・治安維持法強化・労働組合解散・言論統制などが出されたことを確認。《FigJam・canva等を活用》生徒のタブレットへ資料を配布。実際の配給切符の使用のシミュレーションを通して戦時下の生活理解につなげる。個人→ペア→全体【評価B】戦局悪化に伴う国民生活の変化について、自分の言葉で表現している。【評価Cへの支援】戦時下の生活の資料をもとに現代の生活と比較し、国民生活の変化に気づかせる。　　　　　母・子（２人）１家庭100点で計算する。＊点数は地域によっても変動する場合がある。◇配給切符をどのように使用するといいのだろうか？　　　　　　　　　　　　～戦争に向かう人々の生活の実態に迫る～中心発問　　　　　配給切符を使用して気付いたことをメモしよう！ まとめ　日中戦争の中で、国の予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制も始まるなど戦争優先の政策が進められていった。資料①「ぜいたくを戒める看板」　②**「沖縄新報」（近代沖縄史料デジタルアーカイブより）「**食糧の自給へ**」の記事**から人々の生活変化を実感させる。平和な生活を築くことの大切さに築かせ、振り返りにつなげる。**《振り返り》**　世界恐慌後、日本や世界の動きは、（　　　　　　　　　　　　　　　）に変化していったと考える。　　　　　　　　　　　なぜなら、（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）だから。 |
| ４　板書レイアウト等 |  |
| 【単元を貫く問い】世界恐慌後、日本や世界の動きはどのように変化したのだろうか？**めあて**　日本は戦争を進めるためにどのような政策を行ったのだろうか？**まとめ**日中戦争の中で、国の予算の大部分を軍事費にあてるため、１９３８年に（国家総動員法）を定め、政党は解散し、（大政翼賛会）に合流、（軍国主義）教育、（配給）制も始まるなど戦争優先の政策が進められていった。世界恐慌・関東大震災 戦争に向かう政府の政策軍国主義教育治安維持法強化国家総動員法言論統制大政翼賛会 **単元の振り返り**使用してほしいキーワード　　・世界恐慌　・ニューディール政策　・ブロック経済　・五か年計画　・ヒトラー　・ファシズム　・満州事変・国際連盟脱退・五・一五事件　・二・二六事件　・日中戦争　　・国家総動員法　・大政翼賛会**単元を貫く課題** |

【参考文献等】

・帝国書院社会科『中学生の歴史』

・琉球王国交流史・近代沖縄史料デジタルアーカイブ　『食糧の自給へ』　1944.11.14　沖縄新報

https://ryuoki-archive.jp/kin-list/

・『経済統制下の県民生活資料』［物価編］